

産業用ウェアラブル・コンピュータの 米リーディングカンパニーRealWear が日本市場へ本格参入

8,000万ドルの資金調達を完了し、日本代表着任 プラントや工場、建設現場等の安全性と生産性を向上へ

2019年11月25日(月) – 産業用ウェアラブル・コンピュータを開発・販売する RealWear, Inc. (本社: 米国ワシントン州バンクーバー、CEO: Andy Lowery、日本代表: 澄谷 健、以下 RealWear) は、日本市場への本格参入を発表しました。同社は 2019 年 7 月 1 日に大型の資金調達 (Series B で 8,000 万ドル) を完了しています。RealWear は販売開始からわずか 20 ヶ月にもかかわらず、製造業、エネルギー産業、物流産業、建設業など幅広い業界で導入されており、20,000 台以上を出荷し、全世界で 1,500 社以上の顧客数を抱え、120 種類以上のソフトウェア企業が同社のデバイス上で動作するアプリケーションを開発しています。

■日本市場戦略

RealWear は製造プロセスのデジタル化で先行している日本市場を重要視しており、日本の産業基準に合わせた開発を行っています。日本語音声入力に対応済みで、技適の認定取得に加え、日本の防爆基準 TIIS 認定を取得済みです (日本で唯一のハンズフリー・ウェアラブルの ATEX Zone 1 防爆対応機)。既に日本でも遠隔作業支援や保守点検業務のデジタル・ワークフロー、IoT システム連携などの用途で数多くのパイロット・プロジェクトがスタートしています。日本市場における営業戦略としては、10 社以上のリセラーや、対応アプリケーションソフト開発企業、システムインテグレーター、OEM パートナー、コンサルティングパートナーと既に提携しており、2019 年中には更に 20 社程度の企業とパートナーシップを締結する予定です。日本代表には過去に Citrix や Red Hat、Tableau、WindRiver、Ad.com、AdRoll 等の、数多くのテクノロジーベンチャーの日本進出及び事業開発を手がけた元 Japan Entry 代表の澄谷 健が着任しました。日本での営業活動を統括する他、世界規模のパートナーエコシステムを日本市場に拡張する役割を担います。

■日本代表 澄谷 健 (すみたに けん) からのコメント

「我々は従来から存在するスマートグラスという製品カテゴリーを産業の現場に特化したウェアラブル・コンピュータとして進化させ、デジタルトランスフォーメーションやコネクテッドワーカーズ、e ファクトリーの未来に挑戦しています。全世界で起きている熟練者の引退やフィールドエンジニアの採用難、知識技能の継承の仕組みの未整備といった問題は日本企業も抱えており、国際競争力の低

下、インフラの老朽化や事故に繋がる可能性があります。RealWear はこのような課題をパートナーと共に解決し、日本の『現場』に貢献できるソリューションを提供致します。」

■日本セールスディレクター 松永・アル・吉央（まつなが ある よしお）からのコメント

「既に 100 社以上の日本企業に HMT-1 及び防爆対応機種 HMT-1Z1 をご購入いただき、過酷な環境で働く従業員の安全性と生産性を向上させるための実証実験が多数開始されております。まだ日本市場での本格活動開始から数カ月しか経っていませんが、引き合いの内容と数量から日本の様々な『現場』に大きな改革をもたらすことができると確信しています。」

■資金調達について : Series B: RealWear raises \$80M

RealWear, Inc. は 2019 年 7 月 1 日に 8,000 万ドルのシリーズ B の資金調達の完了を発表しました。幹事証券は JPMorgan Chase & Co で、投資家は産業オートメーションの世界的リーダーである Teradyne, Inc. (TER) や Bose Ventures, Qualcomm Ventures LLC (QCOM)、Kopin Corporation (KOPN)、および JP モルガン (JPM) のプライベートバンク等で構成されています。

プレスリリース原文はこちら

<https://www.realwear.com/newsroom/press-releases/series-b-round/>

■RealWear について

RealWear[®] はプラントや工場、建設現場などの過酷な環境で働く人の安全性と生産性を向上させるハードウェアとソフトウェアを提供しています。同社の主力製品 HMT-1[®] は頑丈で頭部に装着することができ、手を使わずに操作できる初めての Android ベースのウェアラブル・コンピュータです。更に化学やガスプラントのような可燃性の環境でも使用できる防爆対応機種 HMT-1Z1[®] は ATEX Zone 1 及び日本の TIIS 認定を取得済みです。

<利用されているソリューション例>

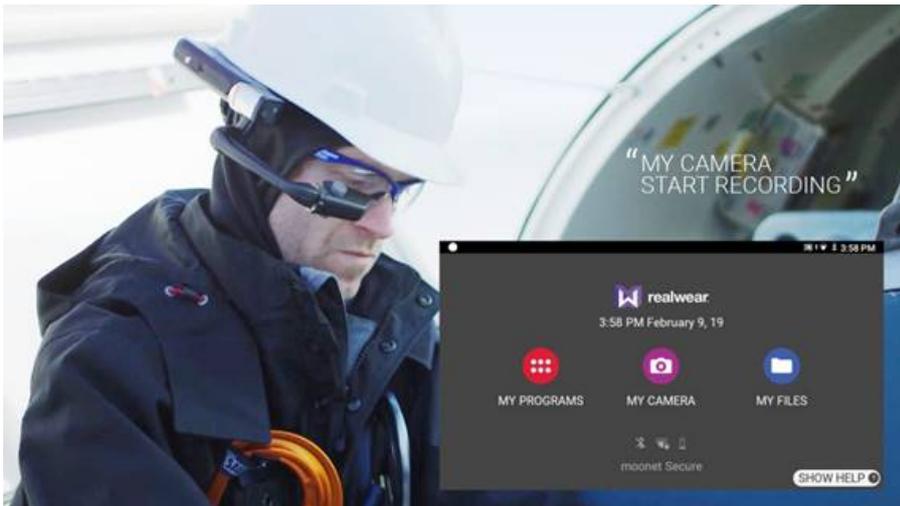
1. 現場の担当者と遠隔地の熟練者とのテレビ会議
2. ビデオトレーニング
3. ドキュメントの閲覧
4. 作業手順（デジタルワークフロー）の表示と作業記録
5. 保守点検作業の確認と作業内容の入力
6. IoT システムとの連携を通じたリアルタイムでの情報取得と遠隔操作



HMT-1



HMT-1Z1



(写真： RealWear)



RealWear CEO (右から 3 人目) と日本市場担当チーム

社名 : RealWear, Inc.

設立 : 2015 年

所在地 : 600 Hatheway Road Suite 105, Vancouver, WA 98661

CEO : Andy Lowery

日本代表 : 澄谷 健

事業内容 : 産業用ウェアラブル・コンピュータの開発、販売

本プレスリリースに関するお問い合わせ

日本代表 : 澄谷 健 ken.sumitani@realwear.com

日本セールスディレクター : 松永・アル・吉央 yoshio.matsunaga@realwear.com

日本語 Web サイト : <https://www.realwear.jp/>

グローバル Web サイト : <https://www.realwear.com/>